

経済トピックス

朝鮮半島情勢改善の可能性

主席研究員 中山 真一

朝鮮民主主義人民共和国（以下「北朝鮮」）の経済情勢は、信頼出来る情報が極端に少ないが、90年頃から食糧事情の悪化を含め縮少再生産の悪循環に入っている。このままの状況が続くとやがて北朝鮮の自壊、あるいは暴発という事態も起こりかねない。朝鮮半島情勢の混乱を避けることが出来るかどうかは不明であるが、朝鮮半島の不安定化を軽減する努力は行う必要があると考える。

北朝鮮経済

北朝鮮経済は90年頃から構造的な要因により不可逆的な縮少再生産過程に入っている。70年代後半から債務不履行に陥り、90年頃から東欧とのバーター貿易が激減し外貨不足により貿易が縮小し、経済成長もマイナスに転じた。又、これまで低落傾向にあった食糧生産が95年の天災で更に減少した。この要因は大別して二つある。一つは計画経済の下で資源配分が非効率になり、加えて設備更新が疎かにされたこと、他の一つは国内自給体制の指向と軍事力増強を図ってきたことが、成長を制約し生産効率を低下させたことである。

計画経済の弊害は北朝鮮に限った問題ではないが、自給体制指向の弊害は特にエネルギー生産・利用、食糧生産に著しい。北朝鮮はエネルギー源を大部分国内で生産される石炭に依存している。石炭生産は坑道が長く深くなるため年々生産効率が落ちる。更に石炭から電力へ変換するロス、送電ロス、採炭での電力使用を考えると石炭生産の非効率性の悪化は無視できない。食糧生産には、肥料・農薬が必要になるが、石炭化学による肥料の片寄り、外貨不足による肥料・農薬の輸入減が地味を減少させ、これに加えて農地を無理に拡大したり、密植を行う等により生産が減少した。北朝鮮の軍事力の増強は、中ソの対立、米中接近、大韓民国（以下「韓国」）の経済力の増加・国際的な地位の向上等、国際情勢が北朝鮮に不利になるのに比例して増加してきた。

北朝鮮経済再建の可能性

北朝鮮経済の再建には、開放経済、市場経済の導入と、韓国との対立関係の改善による軍備縮小、朝鮮半島情勢の好転という対外環境を必要としている。半島情勢の好転は開放経済による外資導入にも不可欠な要件である。まず、経済政策を変更する可能性を考えると北朝鮮はこれまでやや柔軟に対応してき

た。84年には外国企業との合併を認め、91年には羅津・先鋒自由経済貿易地帯内に限り外国資本との合併を含め市場経済制度を認め、96年には農業での「分組管理制」という農業従事者へのインセンティブの導入を行い、94年にはこれまでの重化学工業重視から輸出・軽工業・農業第一主義への転換を表明している。韓国との経済関係も91年には韓国からの委託生産を開始している。

しかしながらこれらの開放、市場経済導入政策が実効を挙げるには朝鮮半島の緊張関係が減少することが必要で、そのためには韓国との関係の改善が必要になる。これまで72年、92年と「統一」の原則については南北の合意があるが、いずれも南北間の緊張関係で進展しなかった。これは北朝鮮の政策が開放、あるいは南北関係の改善に「振り子」が揺れると、政権維持のため揺れを元に戻す方向に働くことにより、膠着状況に陥ってきたことによる。この政策の矛盾は北朝鮮が朝鮮戦争以来の政策の正当性を損なうことを懸念していることによると考える。しかしながら米国を含む関係国との関係改善により、韓国との対立関係を改善することは、冷戦体制の終了という国際情勢変化に対応したものであり北朝鮮の政権の正統性自体は損なわないと考える。

朝鮮半島安定化への道

北朝鮮が韓国との関係を改善する目にみえる措置、例えば、今後10年間で南北間で統一についての具体的内容につき合意に達する、この間、年々軍備縮小を行うこと等に合意することで朝鮮半島の緊張緩和措置をとるならば、関係国はこれまでの債務不履行のリスクジュール、経済再建策・緊張緩和の履行を条件としたマルチの支援を行うことを約束し、初めて北朝鮮経済は再建への道を歩むことができよう。これまでは、関係国が朝鮮半島の現状維持を優先し、何か生じると先延ばしの一時的解決策を選択してきたが、現在北朝鮮経済は不可逆的な縮小生産過程に入っており、朝鮮半島の現状維持は恐らく不可能である。出来る限り早い機会に、朝鮮半島の安定化に向けたワン・パッケージの合意が必要である。

日本は、この合意の形成にむけての国際協調に関係国と共に参画する必要があると考える。これからの東アジアの安定化は、米国のプレゼンスは依然大きいものの冷戦時代と違いマルチの枠組みの組み合わせで各国が広い意味での負担を分担することにあると思う。日本は北東アジアに限らず国際秩序の安定を願い、そのための努力は行うことを鮮明にすべきである。特に、歴史的、経済的、地理的な関係から、日本が朝鮮半島の安定化に何も行動を起こさないことは将来に禍根を残すことになる。